

ICTを活用した 新しい学びの スタイル

の実現



三田祥雲館

個を高める「学び」

- ▶ 動画や画像を利用し授業の理解が深まる
- ▶ 情報収集能力が向上する
- ▶ グラフや文書にまとめる能力が高まる

教え合う「学び」

- ▶ 各自の考えを全体で共有できる
- ▶ プレゼンテーション能力が向上する

つながる「学び」

- ▶ 最先端研究についてオンラインでの質問が可能

三田祥雲館のSSH・探究活動 × 学びのイノベーション事業
⇒ 「新しい学びのスタイル」が実現可能に !!

利用例

1

充実したデジタル機器の完備



- ▶ 全HR教室にプロジェクター
- × 選択教室に大型電子黒板

従来のテレビ型モニターに加え、新たに全HR教室にプロジェクター、選択教室に大型電子黒板を設置。全教室（小教室も含む）同時にモニターを利用した授業や発表会が可能になりました。

- ▶ 4つのPC教室
- × タブレット123台

今までの160台のPCに加え、123台のタブレットを新たに配備。生徒利用のパソコン・タブレットが合計240台以上となり、年次生（6クラス）全員が同時に作業可能になりました。

- ▶ 祥雲の象徴「大講義棟」
- × オンライン会議システム

4系統の映像と8系統のワイヤレス音声配信。320名収容ホールと遠隔地を結び、充実したオンラインイベントが可能になりました。（写真は大講義棟とHR教室を繋いだ全校集会）

利用例

2

充実したネットワーク環境の完備

- ▶ Wi-Fi高速通信回線を含むネットワークの整備
- ▶ クラウドサービス(Net Commons, Microsoft Teams, Google Classroom)を利用したオンライン授業対応可能な授業マネジメントの運用

■ 三田祥雲館で実現する「新しい学びのスタイル」 ■

実現例

1 「一斉学習」における新しい学びのスタイル



▶ 教員による教材の提示

従来のテレビモニターよりも画面が拡大。より理解を深め、興味関心が高まる授業が可能になりました。

▶ 新しい講演会様式の実施

遠隔地在住の研究者によるオンライン講演会や、同時視聴システムを利用した別教室における全年次同時講演会が実現しました。

実現例

2 「個別学習」における新しい学びのスタイル



▶ 調べ学習の充実

論文検索や資料検索に充てる時間の増加により、正しい情報を見極める力が向上、精度の高い探究活動につながりました。

▶ ポスター・論文作成の円滑化

個人でのポスター・論文作成時間が短縮、ICT活用能力が向上し、研究内容をより伝えやすく整理できるようになりました。

実現例

3 「協働学習」における新しい学びのスタイル



▶ タブレットを利用した授業

HR教室において、個人でタブレットを用いたディスカッション等が可能になり、思考を深める学習につながりました。

▶ 生徒発表における活用

校内50か所以上でモニターを利用した発表が可能になり、発表の機会が増え、プレゼンテーション能力の向上につながりました。

実現例

番外編

臨時休校における迅速な対応



▶ オンデマンド動画配信

郵送した課題と連動した独自の動画を配信し、授業を実施しました。

▶ 遠隔個別面談

Web会議システム「Zoom」等を用いた面談や個別質問会を実施しました。

▶ 確実な情報の共有

情報共有システム「Net Commons」等を活用し、情報の共有を徹底しました。